

お知らせ：次回発信日は4月10日週報(予定)

Jミルクが2025年1月31日に公表した「需給見通し(※2024年12月迄実績)」の予測値と直近の実績値(牛乳乳製品統計)をグラフ化しています。

「牛乳乳製品統計(農林水産省)」の公表に併せて、今後も毎月配信していきます。

発行：一般社団法人Jミルク生産流通グループ

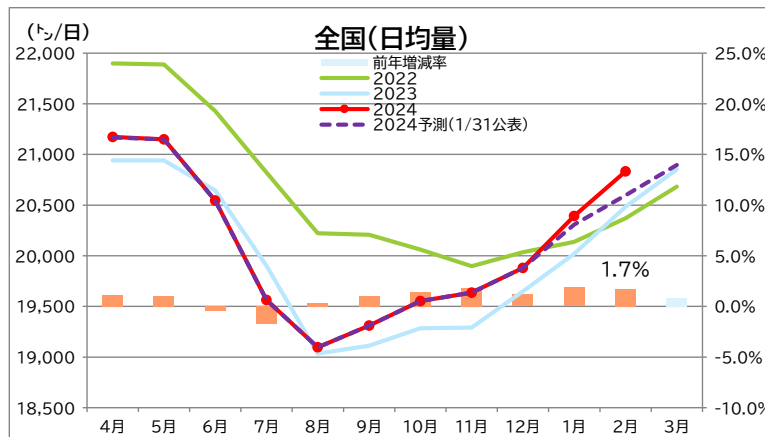
- ・2月の生乳需給実績について、全国の生乳生産量は、前年同期比+1.7%(日均量、以下同)と7カ月連続で上回った。地域別に見ると北海道では+3.9%と7カ月連続で前年超えとなり、都府県は▲1.1%と8カ月連続で前年割れとなった。指定団体受託乳量(速報)では、北海道(ホクレン)が8月下旬から3月下旬まで前年水準を上回っている。一方、都府県は6月中旬から3月中旬まで前年割れが続いているものの、減少率は縮小傾向で推移。このため、全国の受託乳量は9月下旬以降、前年水準を上回っている。
- ・2月の牛乳の生産量は、乳価改定から昨年8月で一巡した影響もあり+1.4%と6カ月連続で前年水準を上回った。一方、成分調整牛乳や乳飲料は低調でいずれも前年割れ。はっ酵乳は、昨年春ごろからの回復基調が続いており、2月は+7.1%と9カ月連続で前年水準を上回ったものの1月の+12.5%からは増加幅を縮小させた。生乳の飲用等向処理量は+1.0%と5カ月連続で前年水準を上回っている。
- ・脱脂粉乳の2月の生産量は13.2千ト、推定出回りは12.2千トと供給量が需要量を上回ったため、月末在庫量は53.9千ト(+4.0%)となり、3カ月連続で5万ト台を維持。脱脂粉乳の在庫量が前年水準を上回るのは3カ月連続。バターの生産量は6.3千ト、推定出回りは6.9千ト、輸入売渡数量は0.9千トと供給量が需要量をわずかに上回ったため、在庫量は約0.2千ト増加し25.9千トとなり、6カ月連続で前年水準を上回った。
- ・牛乳類の3月の販売動向は、4品目すべて前年水準を下回った。首都圏では真冬並みの寒さになる日もあり気温が乱高下したことに加え、米など他の飲食品の値上げが続く中で家計への圧迫が強まっていることで、牛乳類への支出が減少し消費が抑制されている可能性がある。直近(3/24週)の販売動向は、牛乳が99.3%と4週連続で前年水準を下回ったものの、前週から減少幅は縮小させた。関東生乳販連と大手乳業3社との間では、8月から飲用・発酵乳等向け乳価が1ℓ当たり4円の期中値上げが行われることで2025年度の乳価交渉が妥結した。今後、期中値上げが消費に与える影響を注視する必要がある。
- ・はっ酵乳は、1月中旬以降、販売個数がピークアウトして3/3週からは前年水準を下回っていたが、3/24週は3品目計の販売個数が4週ぶりに前年水準を上回った。
- ・家庭用バターは、販売単価が上昇する中、販売個数は4週連続で前年水準を下回った。

【生乳生産量】※増減率は、日均量で算出。

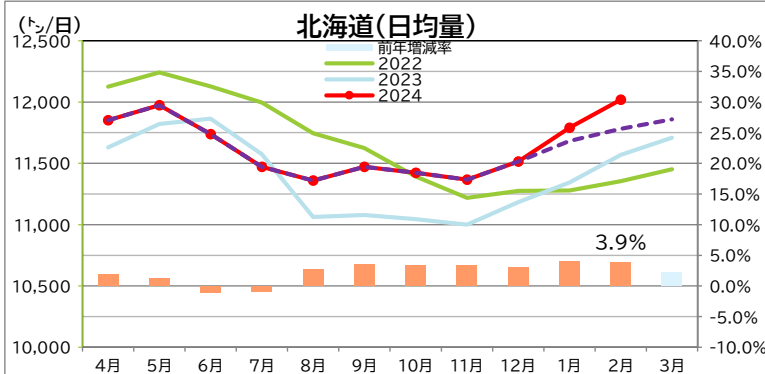
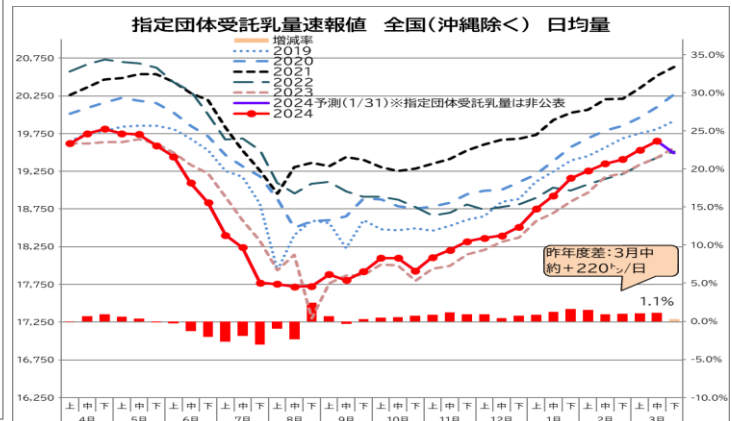
(1)2月の生乳生産量は、全国583.3千ト(前年同月比101.7%)、北海道336.5千ト(同103.9%)、都府県246.8千ト(同98.9%)。

(2)1月に公表したJミルク予測値(全国576.7千ト、北海道329.9千ト、都府県246.8千ト)との比較は北海道と全国が上振れした一方、都府県は同水準になった。

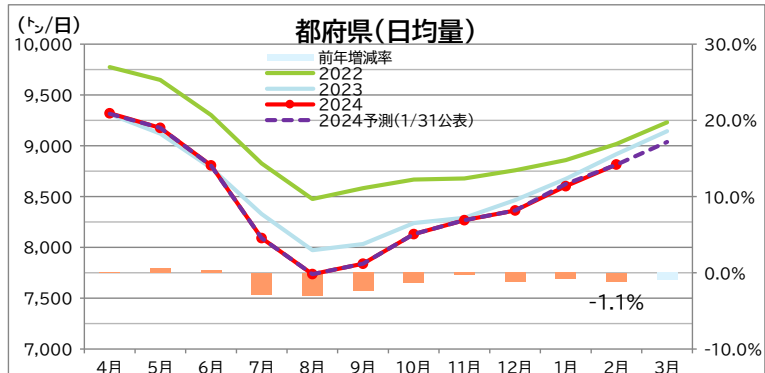
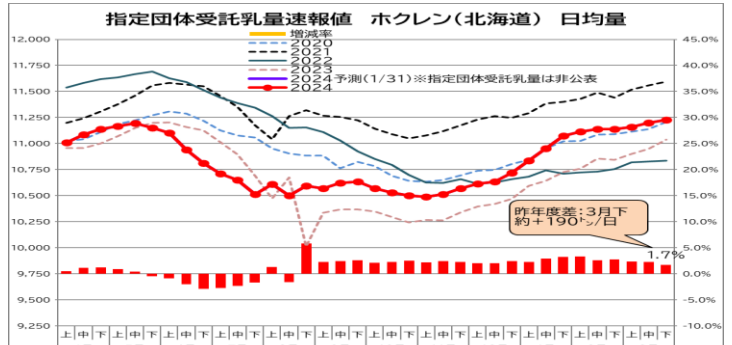
(3)直近の指定団体受託乳量速報値は全国が3月中旬(最新、以下同)で同101.1%、都府県(沖縄除く)が同99.6%、北海道は3月下旬で同101.7%となった。



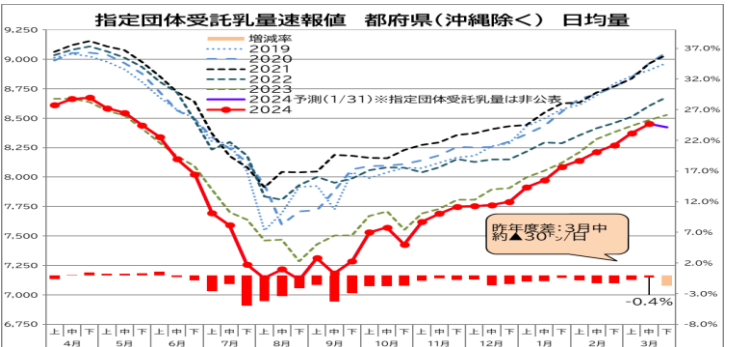
指定団体受託乳量速報値 全国(沖縄除く)※3月中旬



指定団体受託乳量速報値 ホクレン※3月下旬



指定団体受託乳量速報値 都府県(沖縄除く)※3月中旬

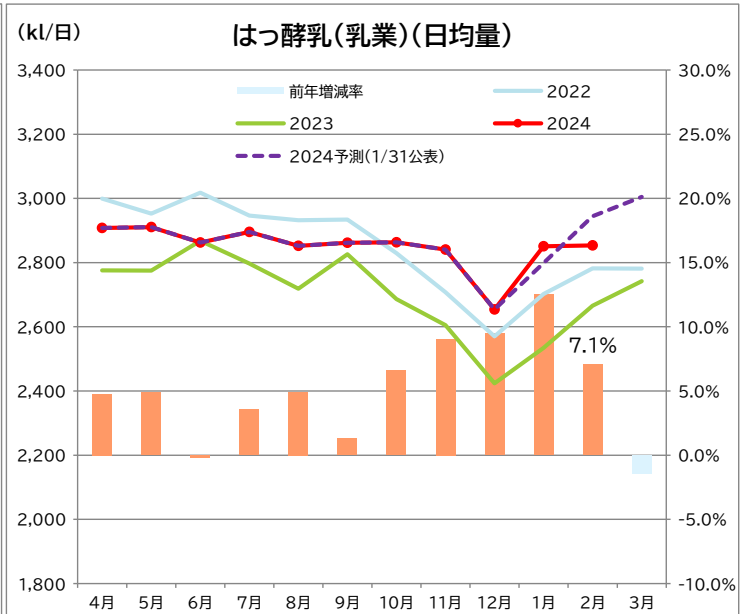
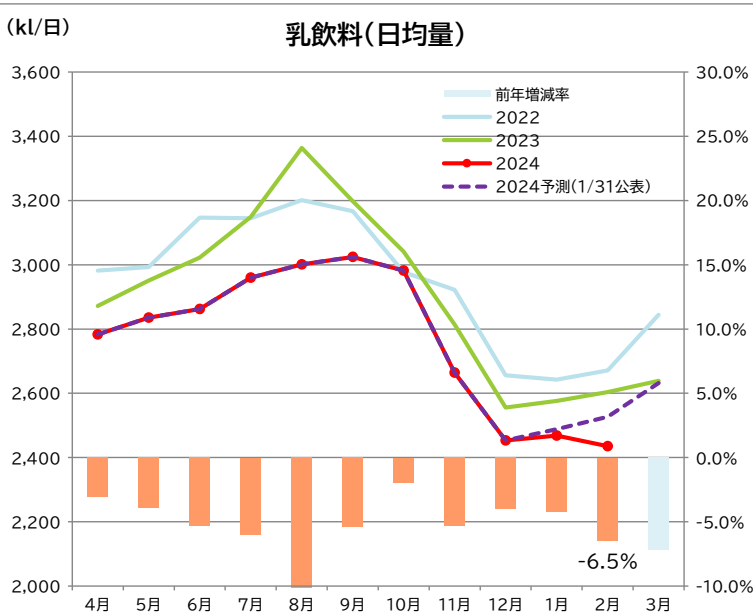
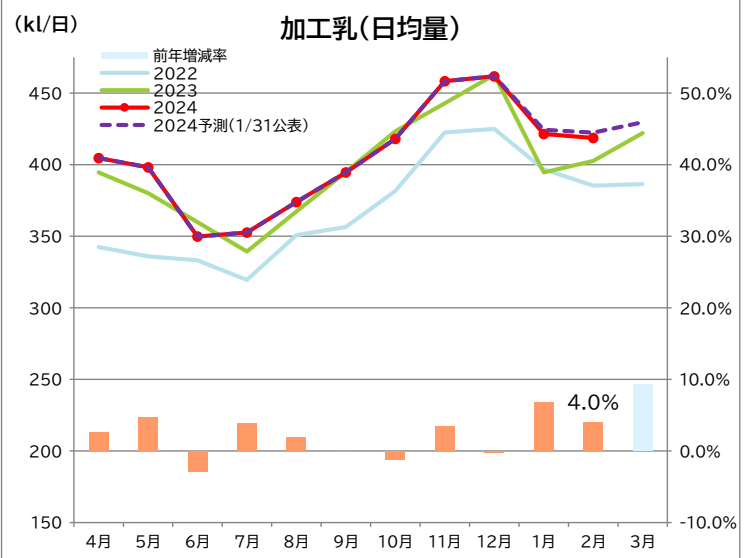
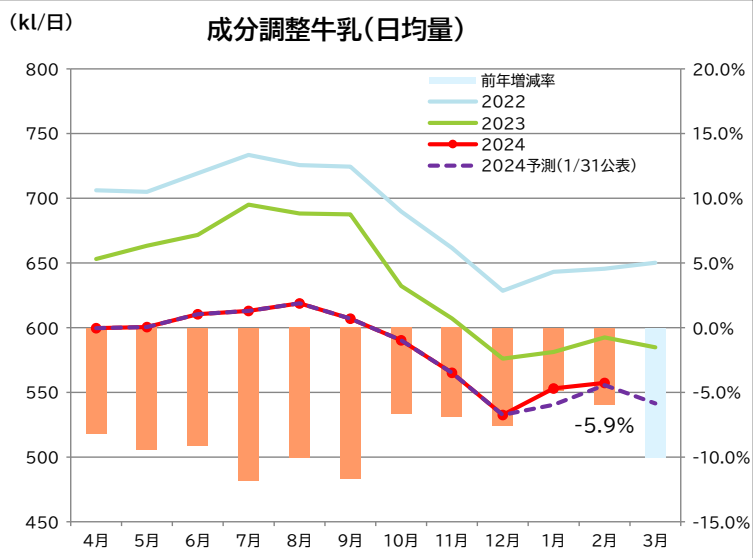
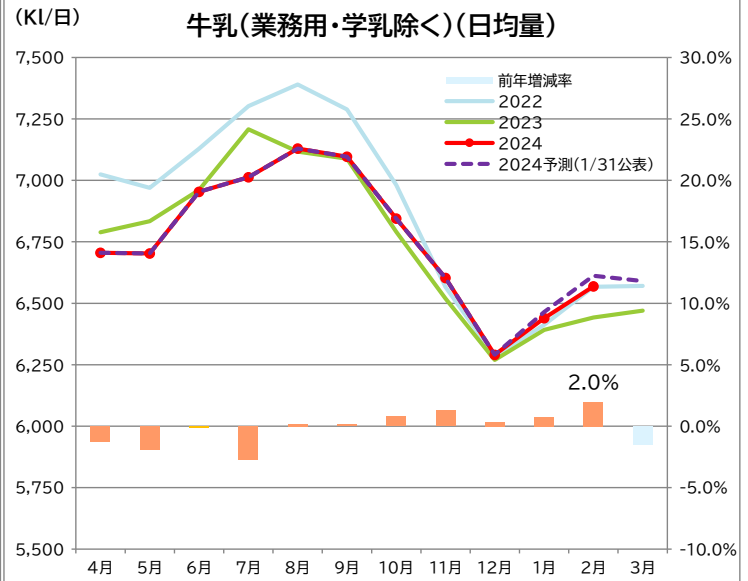
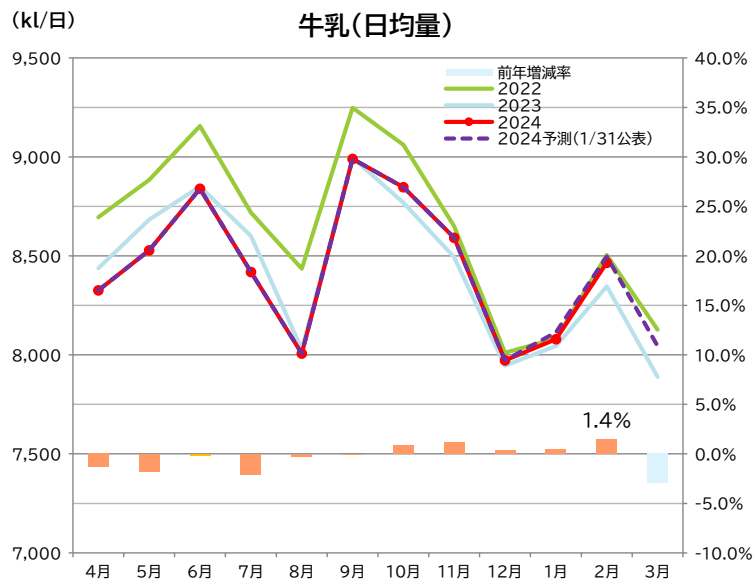


【牛乳等生産量】※増減率は、日均量で算出。

(1)2月の牛乳等生産量は、牛乳237.0千kl(前年同月比101.4%)、成分調整牛乳15.6千kl(同94.1%)、加工乳11.7千kl(同104.0%)、乳飲料68.2千kl(同93.5%)。牛乳類合計(牛乳・成分調整牛乳・加工乳・乳飲料)では、332.5千kl(同99.4%)となり、27カ月連続で前年を下回った。

(2)「牛乳」のうち、「業務用以外」は、同102.0%、「業務用」は同100.5%、「学乳」は98.9%。

(3)はっ酵乳(乳業)は79.9千kl(同107.1%)と8カ月連続で前年を上回った。はっ酵乳(非乳業:1月実績)は101.8%となった。

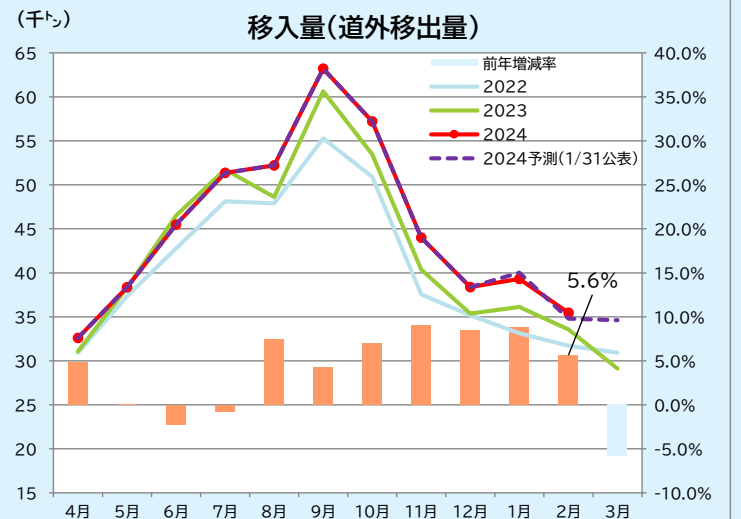
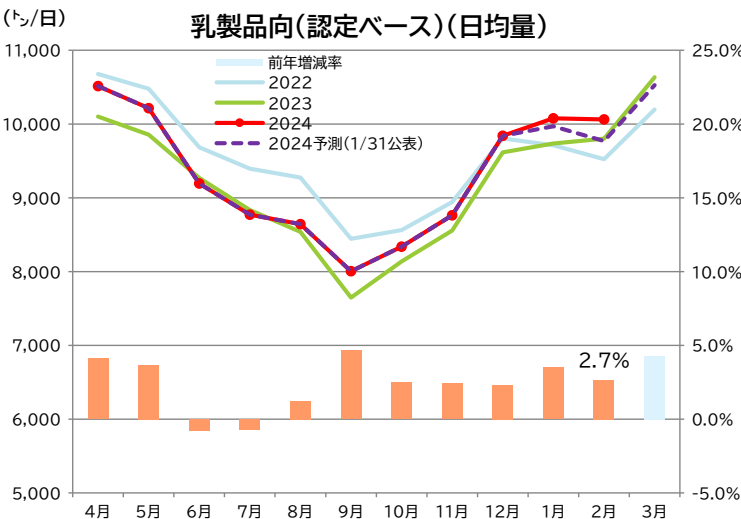
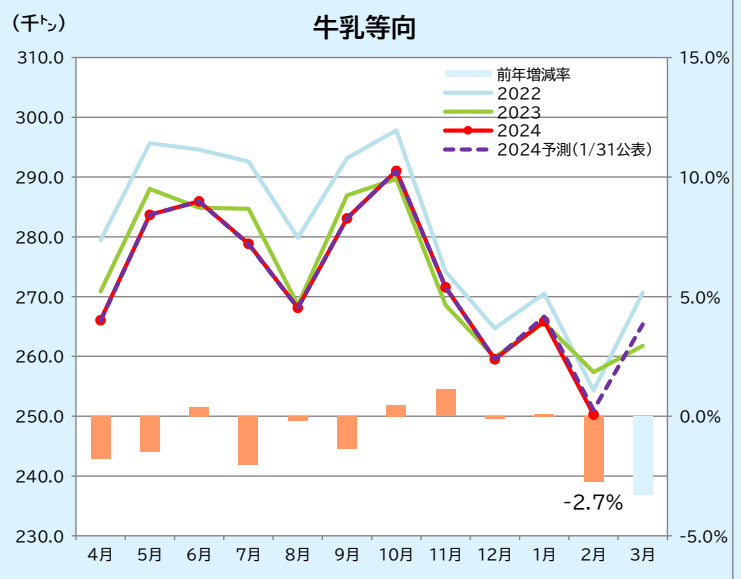
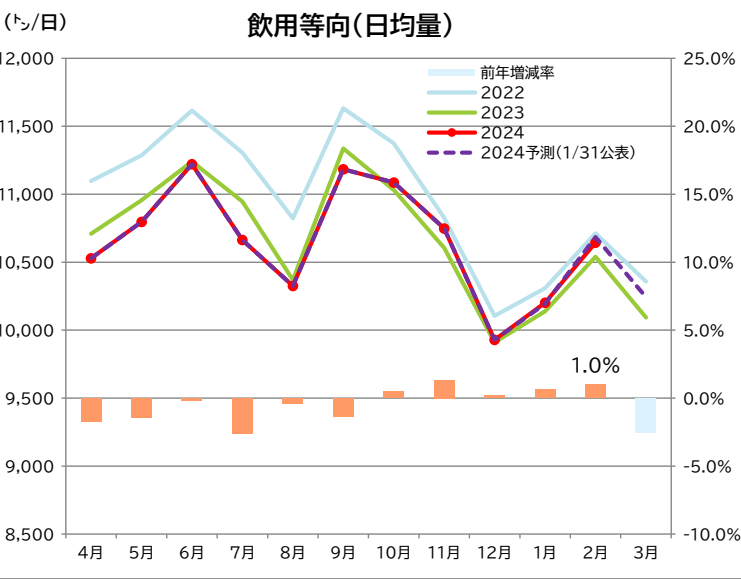
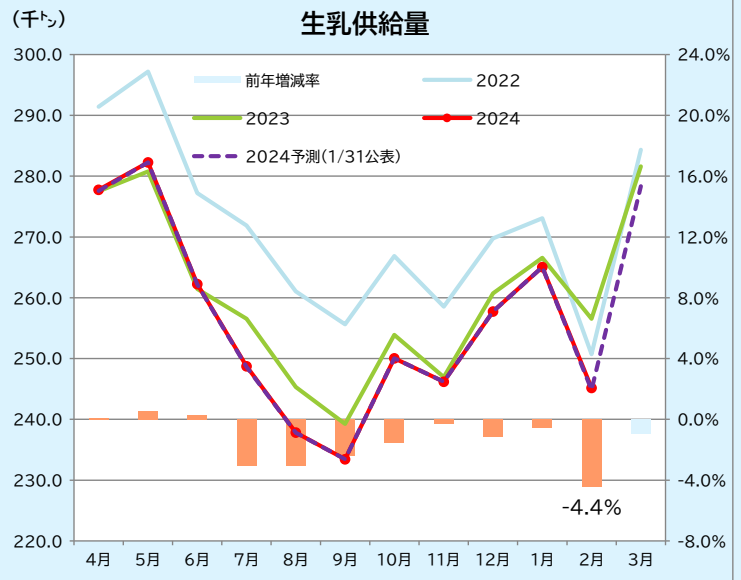
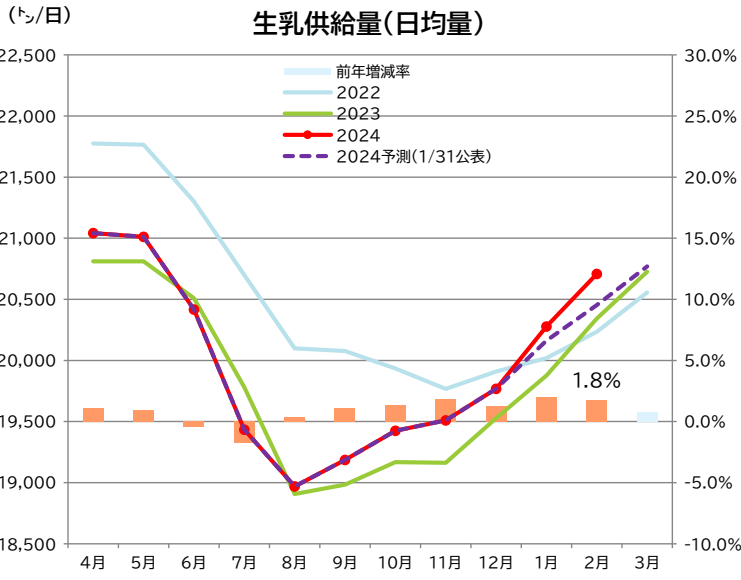


【用途別処理量(全国)】 ※増減率は、日均量で算出。

(1)2月の生乳供給量は579.8千トン(前年同月比101.8%)、飲用等向298.0千トン(同101.0%)、乳製品向(認定ベース)281.8千トン(同102.7%)。
(2)飲用等向が5か月連続で前年を上回ったが、生乳供給量も前年を上回り、結果として乳製品向も7か月連続で前年を上回った。
(3)1月に公表した予測値との比較では、生乳供給量(予測値:572.7千トン)は上振れ、飲用等向(予測値:299.2千トン)はやや下振れ、乳製品向(予測値:273.5千トン)は上振れとなった。

【都府県の生乳需給】

(1)2月は、生乳供給量245.2千トン(前年同月比95.6%)、牛乳等向250.3千トン(同97.3%)。
(2)北海道からの移入量については35.5千トン(同105.6%)と前年を上回った。
(3)1月に公表した予測値との比較では、生乳供給量(予測値:244.8千トン)はやや上振れ、牛乳等向(予測値:251.0千トン)はやや下振れ、移入量(予測値:34.8千トン)もやや上振れとなった。



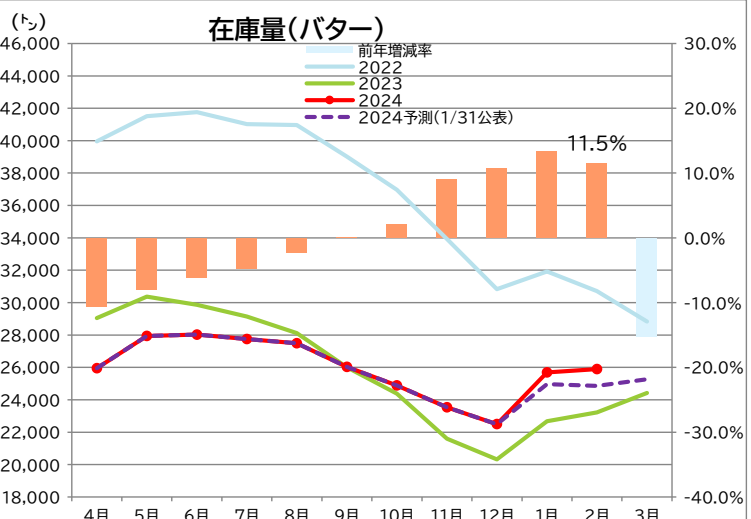
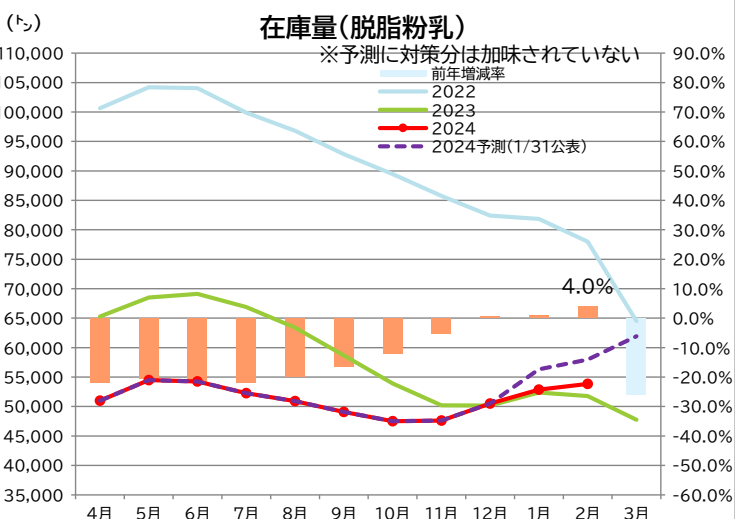
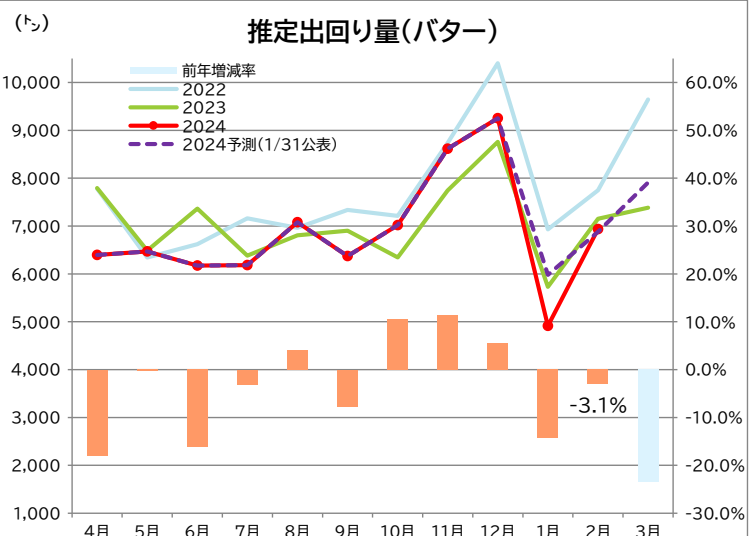
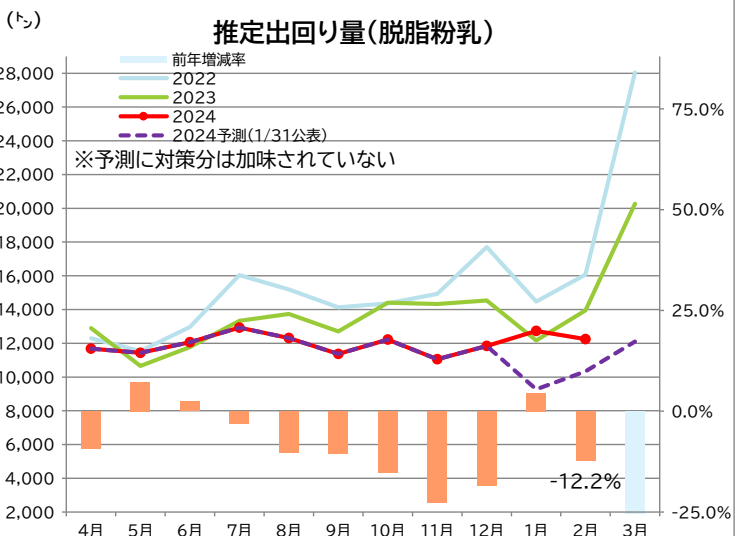
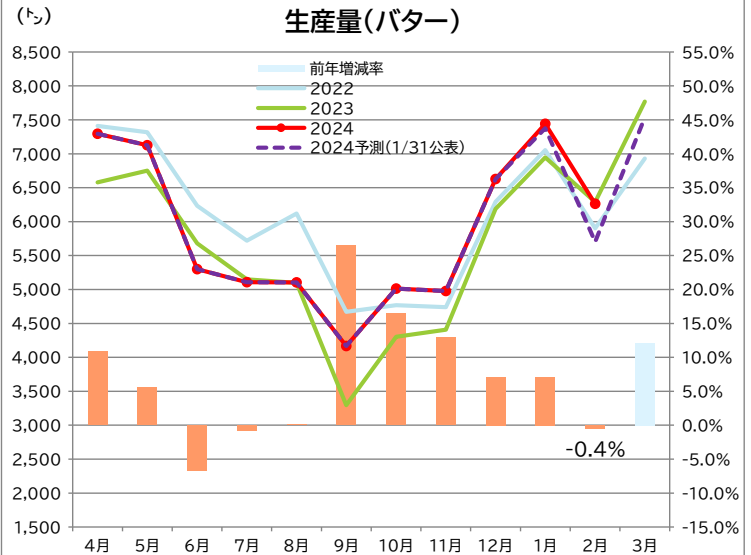
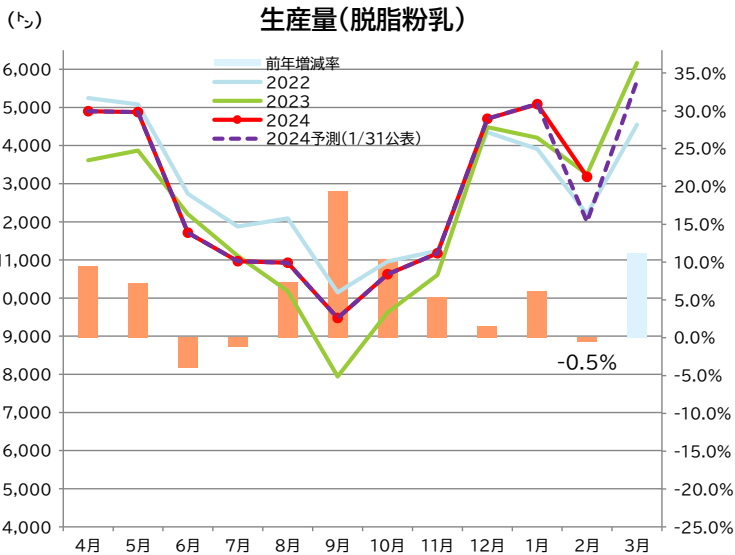
【脱脂粉乳・バター需給】

(1)脱脂粉乳について、2月の生産量は13.2千トン(前年同月99.5%)、推定出回り量は12.2千トン(同87.8%)となった。出回り量が生産量を下回ったため、在庫量は前月から1.0千トン程度増加し、53.9千トン(同104.0%)となった。在庫量は昨年12月、約2年3カ月ぶりに前年水準を上回り、2月も3カ月連続で前年水準を超えた。

※なお、推定出回り量の実績には在庫対策による国産脱脂粉乳への置換分を含む。

(2)バターについて、2月の生産量は6.3千トン(同99.6%)、推定出回り量は6.9千トン(同96.9%)となった。バターの生産量が前年同期比を下回るのは7カ月ぶりだが、日均量では7カ月連続で上回った。一方、出回り量は5カ月ぶりに前年水準を下回った。国家貿易による輸入売渡分(約0.9千トン)も考慮すると在庫量は前月から約0.2千トン増加し25.9千トン(同111.5%)となった。在庫量は6カ月連続で前年超え。

➡脱脂粉乳とバターの需要のアンバランスが表面化するなか、飲用需要が低調に推移している。脱脂粉乳は、積み増しを避けるべく需要拡大や理解醸成活動による消費の底上げを図る必要がある。バターは、消費動向を注視し、国家貿易による対応も含めて需要に対応した安定供給に努める必要がある。



【牛乳類の販売速報(推定値):インテージSRI+】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

(1)3月の動向(表①参照)

・販売個数は、牛乳:前年同月比99.1%、成分調整牛乳:同94.4%、加工乳:同99.7%、乳飲料:同94.3%。牛乳類全体:同98.1%

【参考】2023年3月比…牛乳:97.2%、成分調整牛乳:80.3%、加工乳:99.2%、乳飲料:93.4%(牛乳類トータル:95.5%)

(2)直近の週次動向(表②・グラフ参照)

・直近(3/24)の販売個数は、牛乳:前年同期比99.3%、成分調整牛乳:同93.0%、加工乳:同97.6%、乳飲料:同93.7%。牛乳類トータルでは同98.0%

出典 ㈱インテージSRI+週データ。販売本数、販売単価(税抜)については推定値。データ転用はご遠慮下さい。

【表① 牛乳類の月別販売動向】

単位:千個、円

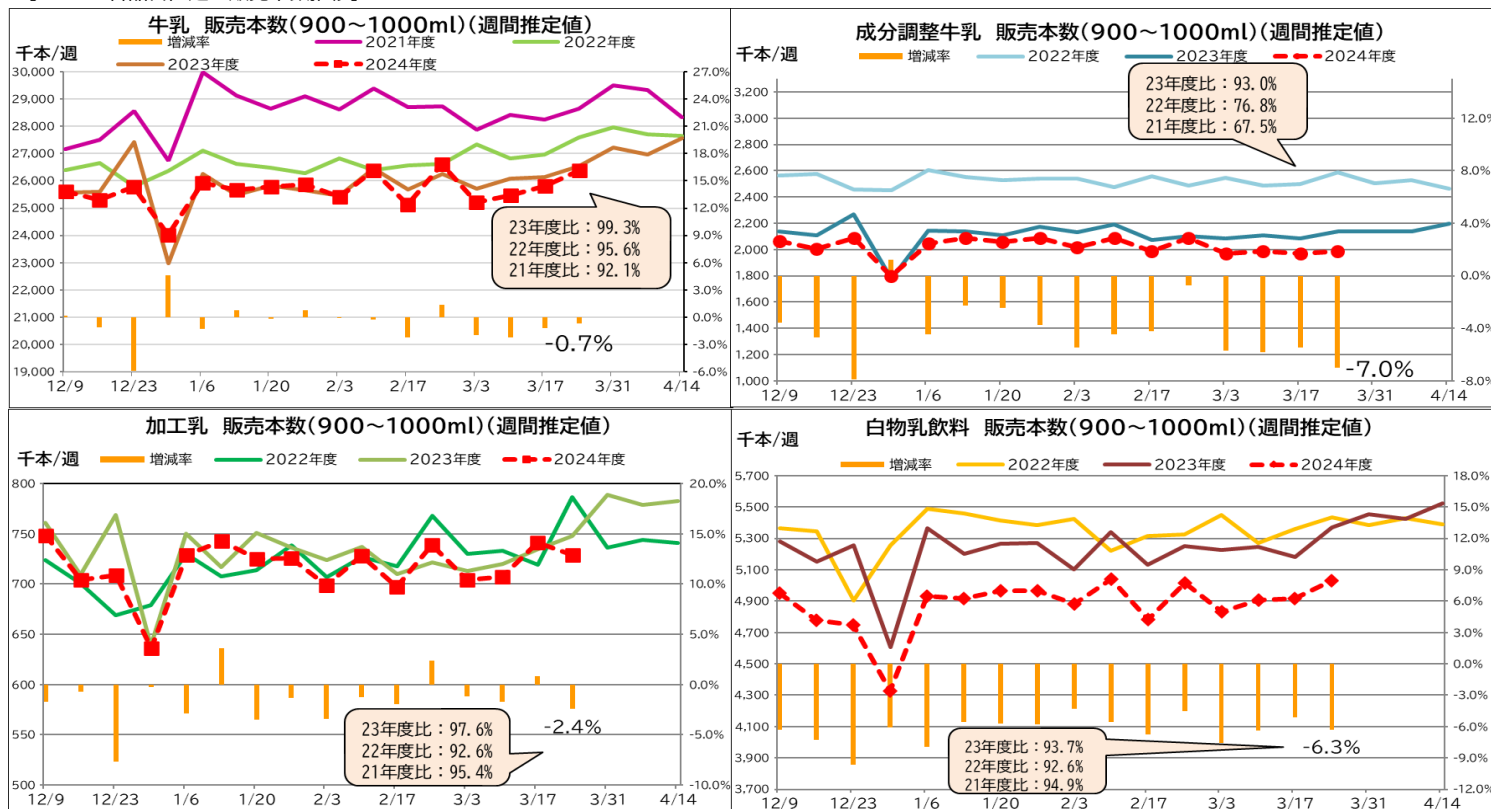
品目	区分	2024/10-	2024/11-	2024/12-	2025/1-	2025/2-	2025/3-	2025/3- 2022/10価格差	2025/3- 2023/3価格差	2025/3- 2023/7価格差	2年前との比
トータル	販売個数	161,140	147,094	149,786	142,418	134,275	149,689	32.5	17.4	15.6	95.5%
	販売個数前年比	98.6	98.9	98.3	97.6	95.7	98.7				
	販売単価	216.0	215.8	216.3	216.3	215.9	215.6	34.1	17.8	17.0	97.2%
	販売個数	123,650	112,767	115,582	109,654	103,489	115,533				
	販売個数前年比	100.3	100.5	99.6	98.8	96.8	99.7	32.5	16.8	13.3	80.3%
	販売単価	225.1	225.0	225.2	225.4	224.9	224.3				
成分調整牛乳	販売個数	9,938	9,065	9,170	8,702	8,211	8,882	28.2	18.5	7.5	99.2%
	販売個数前年比	95.4	96.0	95.5	96.0	93.4	94.4				
	販売単価	206.6	206.0	205.9	205.6	205.4	206.0	23.6	13.0	9.3	93.4%
	販売個数	3,568	3,311	3,280	3,094	2,867	3,220				
	販売個数前年比	97.7	100.4	98.4	97.4	95.8	99.7				
	販売単価	218.0	217.1	219.1	218.6	219.0	218.3				
加工乳	販売個数	23,984	21,951	21,754	20,968	19,708	22,053	23.6	13.0	9.3	93.4%
	販売個数前年比	91.8	92.2	92.8	92.7	91.4	94.3				
	販売単価	173.0	172.7	173.4	172.6	172.9	173.1				
	販売個数	23,984	21,951	21,754	20,968	19,708	22,053				
	販売個数前年比	91.8	92.2	92.8	92.7	91.4	94.3				
	販売単価	173.0	172.7	173.4	172.6	172.9	173.1				

速報値

【表② 牛乳類の販売動向(直近の週次動向)】

品目	区分	2.3-	2.10-	2.17-	2.24-	3.3-	3.10-	3.17-	3.24-	25.3.24- 22.10.24 価格差	25.3.24- 23.3.20 価格差	25.3.24- 23.7.24 価格差
トータル	販売個数	33,019	34,254	32,589	34,446	32,731	33,084	33,454	34,119	32.4	17.5	15.1
	販売個数前年比	98.8	98.6	96.9	100.4	97.0	96.9	98.0	98.0			
	販売単価	216.1	215.9	216.1	215.4	215.9	215.4	215.7	215.6	34.1	17.8	16.6
	販売個数	25,421	26,393	25,119	26,606	25,227	25,483	25,825	26,368			
	販売個数前年比	99.9	99.7	97.7	101.4	98.1	97.7	98.8	99.3			
	販売単価	225.1	224.9	225.0	224.2	224.8	224.3	224.4	224.4			
成分調整牛乳	販売個数	2,018	2,090	1,988	2,086	1,967	1,988	1,972	1,989	32.6	17.7	13.1
	販売個数前年比	94.6	95.5	95.8	99.2	94.3	94.2	94.5	93.0			
	販売単価	206.0	205.2	206.0	204.7	206.4	205.2	206.8	206.3			
	販売個数	699	728	697	739	704	707	741	729	27.2	16.9	6.3
	販売個数前年比	96.5	98.8	98.1	102.4	98.8	98.3	100.8	97.6			
	販売単価	219.6	218.9	218.9	218.6	218.8	218.0	217.1	218.1			
乳飲料	販売個数	4,882	5,042	4,785	5,015	4,833	4,905	4,916	5,032	23.0	13.2	8.5
	販売個数前年比	95.7	94.4	93.2	95.5	92.4	93.6	94.9	93.7			
	販売単価	173.0	172.8	173.2	172.9	173.3	173.2	173.2	172.7			

【グラフ 各品目直近の販売本数推移】



【ヨーグルト類の販売速報(推定値):インテージSRI+】

(1)直近の週次動向(表⑤参照)

直近(3/24週)の販売個数は、ドリンクタイプ(90~250ml):前年同期比100%以上、個食タイプ(70~130ml):同90%以上、大容量タイプ(350~500ml):同105%以上。はっ酵乳全体としては、前年を上回る推移となっている。(3品目合計前年同期比100%以上)。

(2)販売個数について、前週(3/17週)との比較では、3品目いずれも増加した。

※出典 (株)インテージSRI+週データ。販売個数については推定値。データ転用はご遠慮下さい。

【表⑤ ヨーグルト類の販売動向】

単位:千個

品目	2.3-	2.10-	2.17-	2.24-	3.3-	3.10-	3.17-	3.24-
ドリンクタイプ	→	→	→	→	↘	↘	↘	→
個食タイプ	→	→	→	→	↘	↘	→	↘
大容量タイプ	↗	↗	↗	↑	→	↗	↗	↗

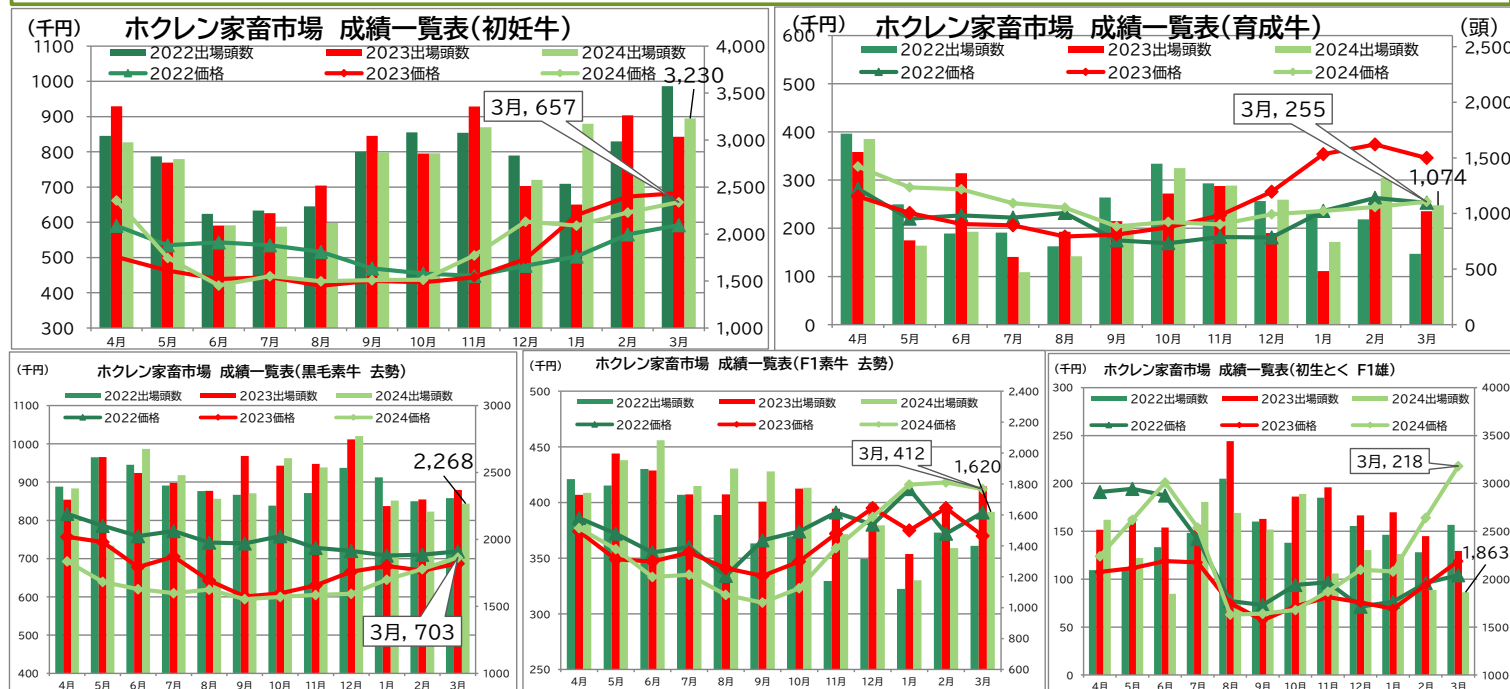
↓	: 前年比90%未満	↗	: 前年比105%以上110%未満
↘	: 前年比90%以上100%未満	↑	: 前年比110%以上120%未満
→	: 前年比100%以上105%未満	↗	: 前年比120%以上

※なお、下地の色が濃いほうが、上記範囲内で前年との増減差が大きいことを表す。

【家畜販売価格動向(税込)】

(1)3月の家畜販売価格動向について、ホクレン家畜市場集計によると、初妊牛価格は657千円(前年同期比96.2%)、育成牛価格は255千円(同73.7%)、和牛素牛(去勢)価格は703千円(同102.3%)、F1素牛(去勢)価格は412千円(同111.4%)。初妊牛は2カ月連続で60万円以上、育成牛は11カ月連続で20万円台となった。ホル初生(雄)価格は62千円(同131.9%)と、8か月ぶりに前年水準を上回った(グラフ無し)。

(2)出場頭数(出回り頭数)は、初妊牛:同80.0%、育成牛:同117.3%、F1初生(雄):同77.0%、和牛素牛(去勢):同96.0%、F1素牛(去勢):同85.3%。

※ホクレン家畜市場集計表 速報値(<https://www.kachiku.hokuren.or.jp/Downloadresult.aspx>)

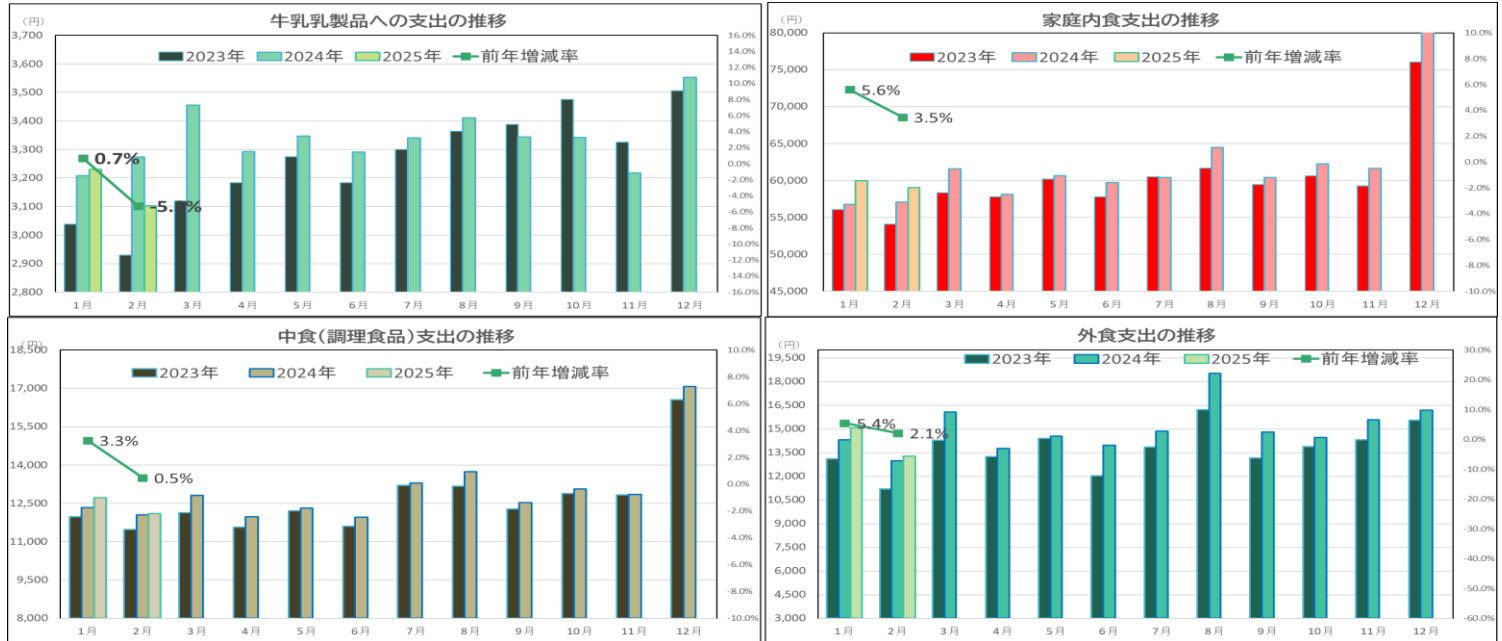
【家計支出の動向】

(1)12月の支出額前年比について、外食102.1%、中食100.5%、内食103.5%といずれも前年を上回り、食料全体への支出額は102.8%となった。

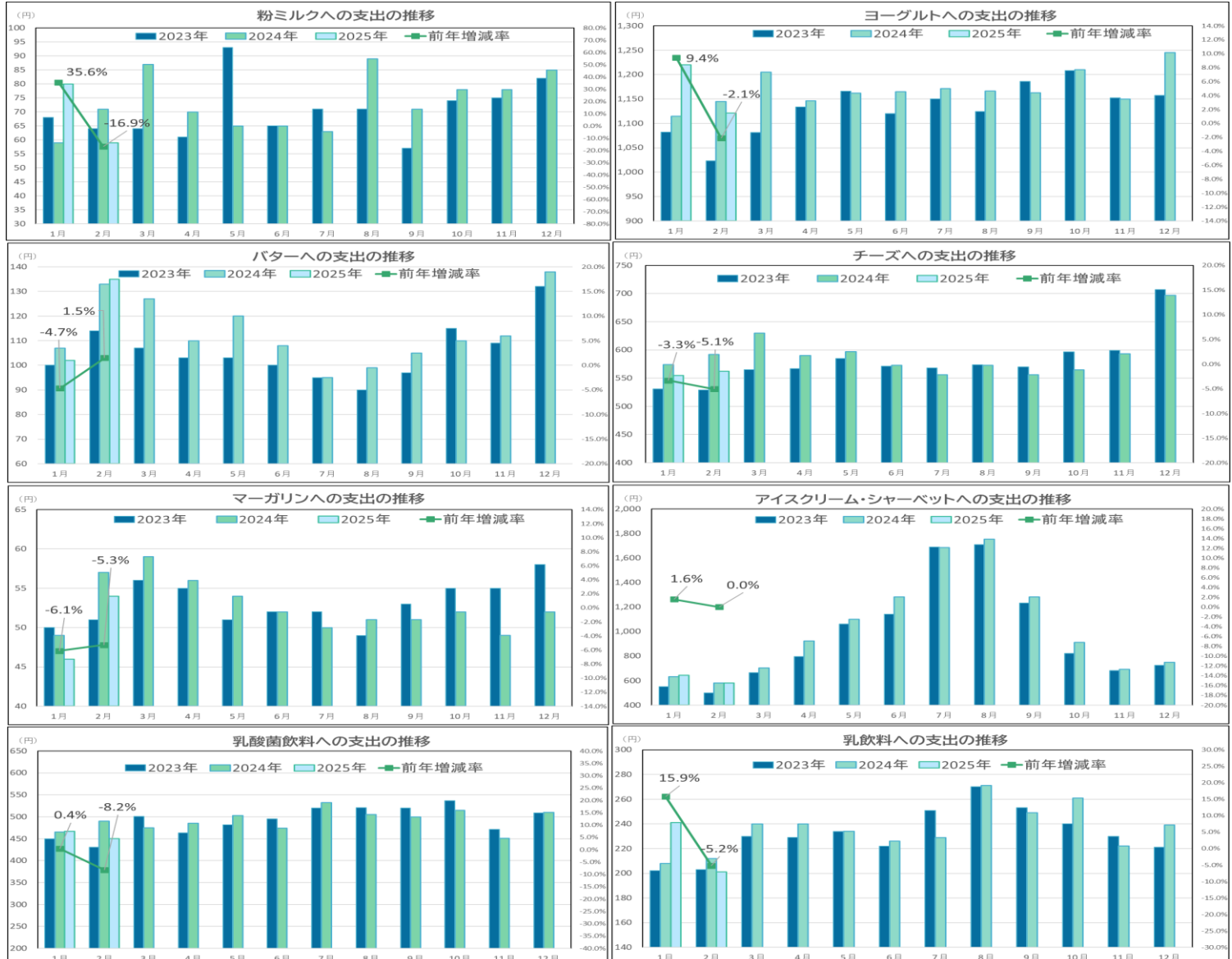
(2)牛乳乳製品の支出額も前年比94.7%(うち牛乳90.5%、乳製品97.4%)と3カ月ぶりにで前年を下回った。

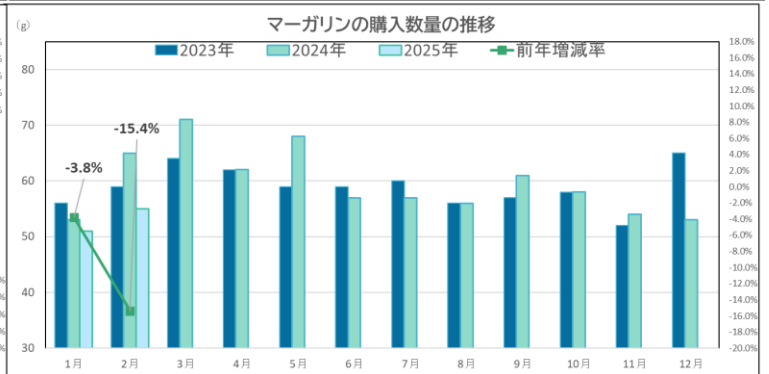
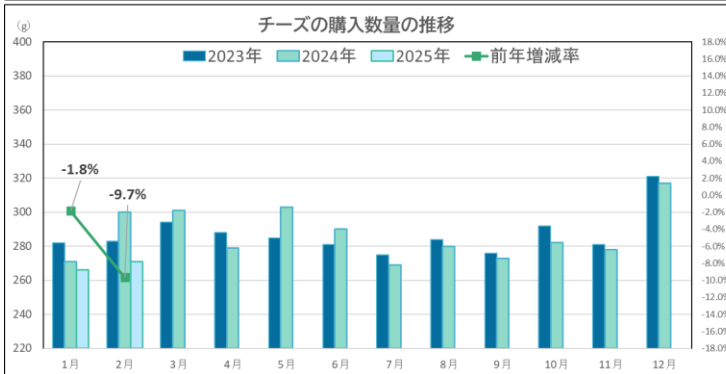
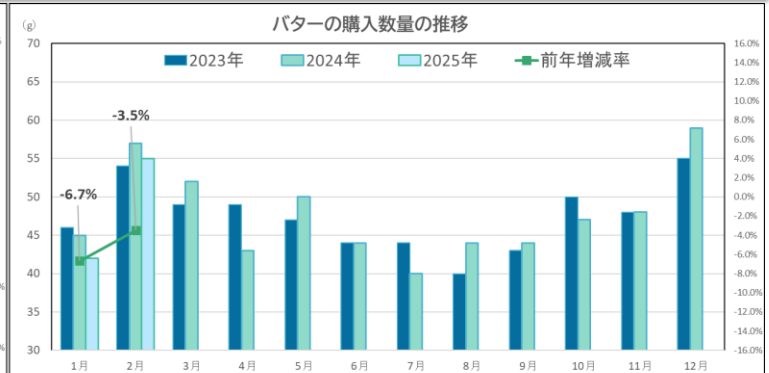
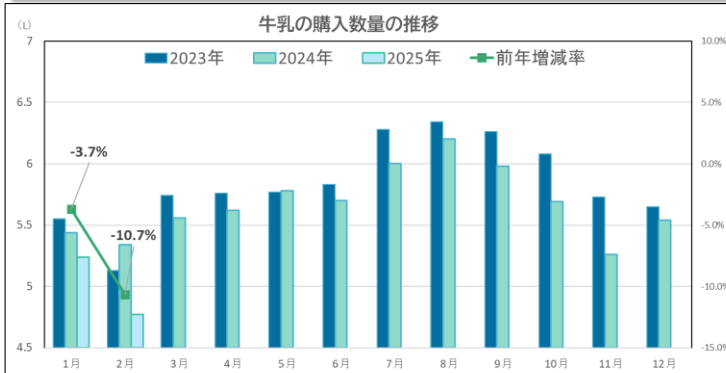
(3)なお、購入量は、牛乳89.3%(1世帯当たり4.77)と9か月連続で前年割れ、チーズは8か月連続で前年割れ、バターは2か月ぶりに前年超えとなった。

※総務省家計調査(二人以上の世帯。家庭内食は、食料-調理食品-外食で独自に算出)



【参考:その他品目支出の動向】



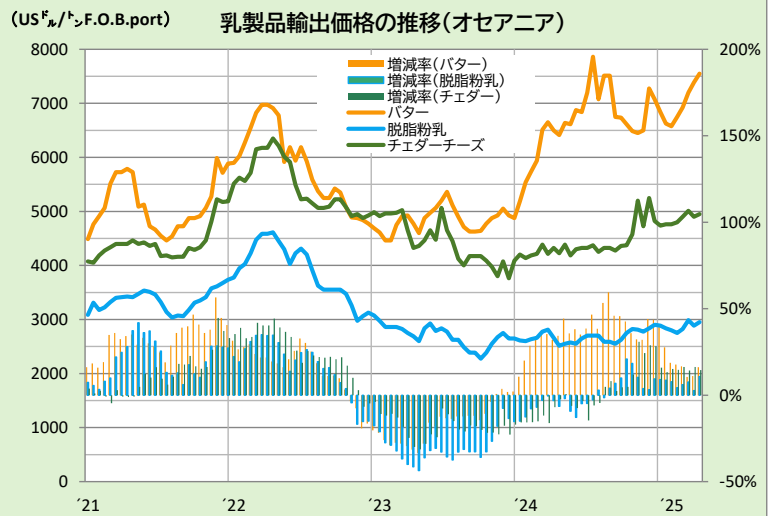
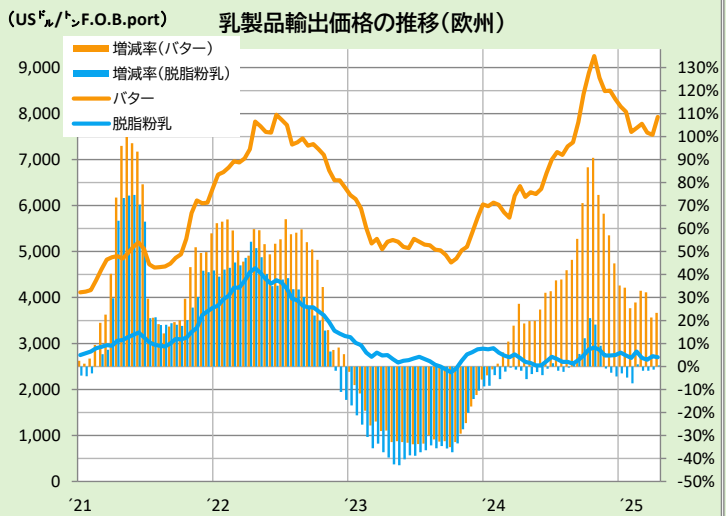


【乳製品輸出価格の動向】

(1) 直近の乳製品国際相場について(3月中旬)

- ・欧州: 脱脂粉乳2,700ドル/トン、バター7,925ドル/トン中心
- ・オセアニア: 脱脂粉乳2,950ドル/トン、バター7,550ドル/トン、チェダーチーズは4,950ドル/トン中心

※出典: 米国農務省(USDA)



※「2024年度生乳需要基盤確保事業 独立行政法人農畜産業振興機構 後援」